# 1　学校経営方針

## 1　教育目標

**校訓「たくましく　やさしく　正しく」**

○　心身ともに健康で、たくましさと粘り強さをもつ子を育てる。
○　豊かな心をもち、やさしい気持ちで仲良く助け合う子を育てる。
○　自ら学んで正しく判断し、責任ある態度で行動する子を育てる。

↓

**目指す子どもの姿**

☆ **たくましい子　「強い体と心」**…目標と振り返りを通して「自己決定」へ

☆ **やさしい子　「心づくり」「仲間づくり」**…「指示」から「主体」へ

☆ **自ら学ぶ子　「学習の自立」**…「教え」から「学び」へ

## 2　経営方針

２１世紀をたくましく生き抜き、自分らしく輝く児童の育成を目指すため、全職員が教育活動の目標達成に向け、使命感と責任感をもって協働し、互いに高め合いながら、児童の笑顔が輝く学校、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。

（１）主体的・対話的な深い学びに向け、互いの指導技術を学び、指導力の向上に努める。

（２）互いのよさを認め合い、学び合う良好な人間関係づくりを目指した学級経営に努める。

（３）体力の向上や、健康で安全な生活に関する指導の充実に努める。

（４）地域と連携した体験的な活動により豊かな人間性や感性を育む。

（５）家庭・地域との連携を深め、地域に信頼される学校づくりに努める。

## 3　本年度の重点努力目標

### （１）確かな学力の定着・向上

- 分かる、できる、楽しい授業を目指した工夫ある指導と学級経営の充実
- 体験的な活動や問題解決的な学習の導入
- ワクワクする「学習課題」「めあて」の設定
- 根拠を基にして考えをまとめる場、考えを出し合い、学び合って捉え直す場の設定
- 身に付けた力を自覚できる「まとめ」「振り返り」の場の設定
- タブレットPCの活用による個別最適な学びと協働的な学びの場の設定
- 調べたことや考えをよりよく表現する力（話す・書く）の育成
- 現職教育による主体的な研修の場の設定

（２）自己の生き方についての考えを深める道徳教育の充実

- 考え、議論して一層高い道徳的価値に気付き、実感する道徳科授業の実施
- 挨拶や清掃活動、時間を守る等の生活規律の徹底と主体的な取組
- 他者に対して優しく、思いやる心の育成
- いじめや問題行動の予防と早期発見・早期対応

（３）たくましく生きるための健康教育の充実

- 目標設定と振り返りを生かした持久走や縄跳びなどの体力つくり
- 健康の保持増進のための保健指導と安全指導の徹底
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣に関する指導の徹底
- 手洗いの徹底、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的生活習慣の定着

（４）特色ある教育活動の充実

- 子ども主体の縦割り班活動や集会活動を中心とした児童会活動の実施
- 山崎小太鼓の活動や総合的な学習の時間による体験学習と探究学習
- 朝のモジュール時間を活用した読み聞かせ活動・青空タイム・教科指導の取組

（５）開かれた学校づくりの推進

- 授業や学校行事の公開、各種たより、ＨＰ等による保護者・地域への情報発信
- 学校運営協議会を活用した地域・保護者との連携と協働による教育活動の推進
- 保護者・地域の人材や素材を活用した教育活動の推進

（６）働き方改革にかかる業務改善

- 行事の精選や会議・研修の効率化、校務分掌等の役割分担の見直し
- チーム山崎としての教職員の協働
- 教職員自身の適切なワークライフバランスの意識化

# 2　教育課程と学校行事

## 1　学校の規模

| 学　年 | | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 特別支援学級 | | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学　級 | | １組 | １組 | １組 | １組 | １組 | １組 | なかよし1組（知 的） | なかよし2組（自・情） | |
| 担任名 | | 吉田恵 | 竹田<br>加賀 | 永井 | 宮崎 | 伊藤 | 辻 | 松本 | 岩崎 | |
| 児童数 | 男 | 6 | 5 | １１ | 7 | 4 | １１ | 1 | 0 | ４５ |
| | 女 | 9 | 4 | １１ | 8 | １３ | 7 | 1 | 2 | ５５ |
| | 計 | １５ | 9 | ２２ | １５ | １７ | １８ | 2 | 2 | １００ |
| 学級数 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 |

## 2　教育課程

（１）授業時数配当表

①　通常学級

| 学 年 | 国語 | 社会 | 算数 | 理科 | 生活 | 音楽 | 図画工作 | 家庭 | 体育 | 外国語 | 道徳 | 外国語活動 | 総合的な学習の時間 | 特別活動 学活 | 総授業時 数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 年 | 306 | | 136 | | 102 | 68 | 68 | | 102 | | 34 | | | 34 | 850 |
| 2 年 | 315 | | 175 | | 105 | 70 | 70 | | 105 | | 35 | | | 35 | 910 |
| 3 年 | 245 | 70 | 175 | 90 | | 60 | 60 | | 105 | | 35 | 35 | 70 | 35 | 980 |
| 4 年 | 245 | 90 | 175 | 105 | | 60 | 60 | | 105 | | 35 | 35 | 70 | 35 | 1015 |
| 5 年 | 175 | 100 | 175 | 105 | | 50 | 50 | 60 | 90 | 70 | 35 | | 70 | 35 | 1015 |
| 6 年 | 175 | 105 | 175 | 105 | | 50 | 50 | 55 | 90 | 70 | 35 | | 70 | 35 | 1015 |

②　特別支援学級

| 指導形態 / 学級・学年 | | 教科別の指導 国語 | 社会 | 算数 | 理科 | 生活 | 音楽 | 図画工作 | 家庭 | 体育 | 外国語 | 道徳 | 領域等の指導 学級活動 | 各教科等を合わせた指導 生活単元 | 日常生活 | 遊びの指導 | 外国語活動 | 総合的な学習の時間 | 自立活動 | 総授業数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| なかよし1（知的） | ４年 | 175 | 90 | 175 | 105 | | 60 | 60 | | 105 | | 35 | 35 | 35 | | | 35 | 70 | 35 | 1015 |
| | ５年 | 105 | 100 | 175 | 105 | | 50 | 50 | 60 | 90 | 70 | 35 | 35 | 35 | | | | 70 | 35 | 1015 |
| なかよし2（自閉・情緒） | １年 | 204 | | 136 | | 68 | 68 | 68 | | 102 | | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | | | 34 | 850 |
| | ５年 | 105 | 100 | 175 | 105 | | 50 | 50 | | 90 | 70 | 35 | 35 | 35 | | | | 70 | 35 | 1015 |

## ３　週の計画及び日課表

| 日課表 | | 週計画 | | | | | 職員勤務 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区分 | 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
| 健康観察・朝の会 | 8:15 ～ 8:30 | 健康観察(8:15)<br>全校朝礼・児童集会<br>読書タイム(8:20～)<br>朝の会(8:35) | 健康観察・朝の会 | 健康観察・朝の会 | 健康観察・朝の会 | 健康観察・朝の会 | 勤務開始<br>8:10 |
| 朝の活動<br>朝の学習 | 8:30 ～ 8:45 | | 読み聞かせ<br>青空タイム | 学習タイム<br>(モジュール学習) | 学習タイム<br>(モジュール学習) | 学習タイム<br>(モジュール学習) | |
| 第 1 時 | 8:45 ～ 9:30 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | |
| 第 2 時 | 9:40 ～10:25 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | |
| 20分休み | 10:25 ～10:45 | | | | | | |
| 第 3 時 | 10:45 ～11:30 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | |
| 第 4 時 | 11:40 ～12:25 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | |
| 給食<br>歯磨き | 12:25 ～13:10 | | | | | | |
| 昼休み | 13:10 ～13:30 | | | | | | 13:15<br>休　憩<br>13:30<br>(15分) |
| 清　掃 | 13:30 ～13:45 | | | | | | |
| 第 5 時 | 13:50 ～14:35 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | １～６年 | |
| 帰りの会 | 14:35 ～14:45 | 帰りの会 | | | 帰りの会 | | |
| 第 6 時<br>(月)<br>(火・水・金) | 14:50 ～15:35<br>14:45 ～15:30 | クラブ:4~6年<br>委員会:4~6年<br>各教科:3~6年 | ３～６年<br>セーフティ・プラスワン<br>1・2年 | 2・4～6年<br>セーフティ・プラスワン<br>1・3年 | 職員会議<br>現職教育<br>各種委員会<br>※　授業の日もある | ３～６年<br>セーフティ・プラスワン<br>1・2年 | |
| 帰りの会 | 15:30 ～15:40 | | 帰りの会 | 帰りの会 | | 帰りの会 | 15:55<br>休　憩<br>16:25<br>(30分) |
| 職員打合せ | 16:25 ～ | 職員打合せ | 職員打合せ | 職員打合せ | 職員打合せ | 職員打合せ | 勤務終了<br>16:40 |
| ※　５時間下校　14:55　　６時間下校　15:45 | | | | | | | |

・月曜日…全校朝礼・児童集会がない日は、読書タイム(8:20～8:35)。

・火曜日…読み聞かせと青空タイムを隔週で行う。

・月曜６限…クラブ・委員会がない日は、授業を行う(１０時間分：３～６年)。

・水～木曜日…１５分のモジュール学習(１５分×３日)を行う。
　→１・２年はカウントしない。３～６年は２５時間分をカウント。

・セーフティー・プラスワン…１年(火・水・金)、２年(火・金)、３年(水)

## ４　学年・曜日別下校時刻

（１）月曜日の下校

①　３年生は、月６がある日(年間１０時間)は、15:45下校。

②　４～６年生は、月６がある日(年間１０時間)とクラブ・委員会がある日は、15:45下校。

（２）火・水・木の下校

・　セーフティー・プラスワンにより、全学年15:45下校。

## ５　学校行事計画

| 月 | 儀式的行　事 | 文化的行事 | 健康安全・体育的行事 | 遠足・集団宿泊的行事 | 勤労生産・奉仕的行事 | その他の行事 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 入学式<br>新任式<br>始業式 | １年生を迎える会 | 身体測定・視力検査<br>避難訓練(地震)<br>聴力検査<br>尿検査<br>引き渡し下校訓練 | | | 学級委員任命<br>通学路点検<br>通学団会<br>ＰＴＡ総会<br>家庭訪問 |
| 5 | | | 交通安全教室<br>内科検診<br>心電図<br>歯科検診<br>耳鼻科・眼科検診<br>体力テスト<br>栄養指導 | 校外学習<br>(3・6年) | 農業体験学習<br>(サツマイモ植え付け) | 学校訪問 |
| 6 | | 福祉実践教室 | 避難訓練<br>（特別教室）<br>プール開き<br>学校保健委員会 | | 農業体験学習<br>(実験田での田植え)<br>プール清掃<br>(更衣室・プールサイド) | 学校公開日<br>資源回収 |
| 7 | 終業式 | | 着衣水泳<br>水泳記録会 | | 大掃除 | 個人懇談会<br>通学団会 |
| 8 | | | | 野外教育活動 | | |
| 9 | 始業式 | 競書会 | 身体測定<br>運動会 | | | 後期運営委員任命<br>学級委員任命<br>校区運動会 |
| 10 | | 山小祭 | 身体測定・視力検査<br>就学時健康診断<br>栄養指導 | 校外学習<br>(1・2・4・5年) | 農業体験学習<br>(サツマイモ収穫) | |
| 11 | | | 避難訓練(火災)<br>学校保健委員会<br>持久走記録会<br>安心教室 | 修学旅行 | 農業体験学習<br>(実験田での稲刈り) | 資源回収 |
| 12 | 終業式 | | | | 大掃除 | 個人懇談会<br>通学団会 |
| 1 | 始業式 | 書き初め | 身体測定 | | | 前期運営委員任命<br>学級委員任命 |
| 2 | | 学習発表会<br>６年生を送る会 | 予告なし避難訓練 | | | 新１年体験入学 |
| 3 | 卒業式<br>修了式 | | | | ６年生奉仕活動<br>大掃除 | 通学団会 |

## ７　家庭・地域との連携について

（１）ＰＴＡ総会、学級懇談会、個人懇談会、ホームページ、「校長室だより」やＰＴＡ新聞「山小だより」の発行において、教育活動の紹介や報告をするとともに、学校評価やアンケート調査を通して保護者からの要望や意見を受け入れられるように心がける。

（２）学校運営協議会、学校保健委員会、民生・児童委員会など、定期的に行う地域の代表者との話し合いにおいて、学校からの教育活動の情報提供を積極的に行うとともに、学校に対する地域の要望や意見を聞く場として、地域との情報交換を図り、理解を深める。

### ８　幼保小・小中連携について

（１）夏休みに次年度、入学予定の園児が在籍する幼稚園、保育園を訪問し、連携を図る。

（２）体験入学や低学年の生活科学習による交流会などを設定し、次年度入学する園児や保護者に小学校生活に触れる機会をもつ。

（３）小中連絡会を年１回開き、小学校と中学校の円滑な接続を図る場とする。

### ９　特色ある教育について

（１）読書タイムとおはなし会
　隔週火曜日に「読書タイム」を設け、保護者ボランティアと教師が各クラスに入り、読み聞かせを行う。また、夏には、保護者ボランティアによる「平和を語る会」を行い、平和について考える機会をつくるとともに読書に親しむ児童を育てる。

（２）外部講師
　各教科や総合的な学習の時間などにおいて、学習に興味・関心がもてるよう、地域の方を講師として招聘し、学習効果を上げるとともに交流を図る。

## ３　施設管理と整備

### １　安心・安全な学校環境づくり

（１）避難訓練…地震：４・６・２月、火災：１１月

（２）災害時引き渡し下校訓練…４月

（３）学校保健委員会…６・１１月

（４）食物アレルギー対応訓練…４月

（５）危機管理マニュアルの見直し

（６）施設の整備
　①　職員による安全点検…月１回
　②　業者による安全点検…遊具、電気設備、消防設備

（７）修理や改修が必要な施設・設備
　①　市に要望するもの
　　・　屋上防水シートの貼り替え
　　・　体育館暗幕の修繕
　　・　屋外トイレの改修
　　・　運動場のグリーンサンド化
　②　市の予算で改修予定のもの
　　・　給水設備改修工事
　　・　配膳室空調設備改修工事

### ２　児童とともに進める学校環境づくり

（１）整理整頓の徹底…机の中、ロッカーの中、下駄箱、掃除道具入れ

（２）清掃活動…昼休み後

（３）学年園の整備…春・秋

（４）落ち葉拾いボランティア…５月、１１～１２月

### ３　その他

（１）樹木の剪定…体育館周辺、運動場南

（２）害虫駆除

# 令和５年度　山崎小学校の予算

（１）学校配当予算

（単位：円）

| 細節 | 主な使途 | 令和5年度 | 令和4年度 | 前年度比 |
|---|---|---|---|---|
| 消耗品費 | 事務用品代・維持管理用品代・給食用品代・保健衛生用品代・感染症対策用品代・学校行事用品代 | 1,200,000 | 1,185,000 | 15,000 |
| 食糧費 | 弁当代、茶菓子代、学校給食代 | 11,000 | 10,000 | 1,000 |
| 印刷製本費 | 学校経営案印刷代 | 48,000 | 49,000 | -1,000 |
| 修繕料 | 施設・備品の修繕料 | 494,000 | 463,000 | 31,000 |
| 飼料費 | 餌代 | 5,000 | 5,000 | - |
| 手数料 | 樹木選定代、機器調整代、教材備品の調律代 | 401,000 | 462,000 | -61,000 |
| 原材料費 | 材料代（ベニヤ・トタン・木材など）・砂代 | 14,000 | 15,000 | -1,000 |
| 計 | | 2,173,000 | 2,189,000 | -16,000 |

（２）市からの補助金

（単位：円）

| 会計名 | 主な使途 | 令和5年度 | 令和4年度 | 前年度比 |
|---|---|---|---|---|
| 特色ある学校づくり補助事業 | 教科学習交通費代・QUアンケート代・総合的な学習の補助・講師料 | 381,600 | 382,400 | -800 |
| 児童生徒指導対策事業 | 掲示用学級写真代 | 11,600 | 11,600 | - |
| 現職教育補助事業 | 研修材料代、書籍代、研究大会参加費・資料代 | 28,000 | 28,000 | - |
| 計 | | 421,200 | 422,000 | -800 |

（３）その他

（単位：円）

| 会計名 | 主な使途 | 令和5年度 | 令和4年度 | 前年度比 |
|---|---|---|---|---|
| 青少年赤十字助成金 | 防災用品代 | 50,000 | 5,000 | 45,000 |
| ＰＴＡ一般会計 | 読み聞かせ活動費・学校保健委員会活動費・委員会活動費・講師料・新型コロナ対策費 | 292,856 | 339,190 | -46,334 |
| ＰＴＡ特別会計 | 山小だより印刷代 | （未定） | 191,345 | （未定） |
| 後援会 | 遊具代・校区運動会参加賞代・講師料・新型コロナ対策費・手数料 | 499,940 | 427,465 | 72,475 |
| 計 | | （未定） | 963,000 | （未定） |

令和５年５月吉日

地域学校協働活動推進員　堀田　正隆
稲沢市立山崎小学校長　佐々木佐知子

# 地域学校協働活動推進事業が開始されます

「地域学校協働活動」とは、より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動で、「地域全体で子供たちの学びや成長を支える」と共に、「学校を核とした地域づくり」を目指すもので、本年度より稲沢市においても既存の活動をベースに順次実施することとなりました。

そこで、本年度山崎小校区においては、この趣旨に沿って、広く地域の方々に「学校支援ボランティア」を募ることといたしました。すでに実施されていることもありますので、この機会にさらなる充実を図っていきたいと思います。よろしくご支援・ご協力をお願いいたします。

## １　既に学校支援ボランティアとしてお世話になっていること

（１）子どもの安全な下校支援
　　長年にわたり「ぎんなん隊」の方にお世話になっています。

（２）子どもの地域学習支援
　　まち探検等で毎年お世話になっています。

## ２　今後学校支援ボランティアとしてお願いしていきたいこと（予定）

（１）学校環境支援
　　花壇や植栽、除草等豊かな教育環境の支援

（２）実技教科の学習支援
　　工作、理科実験、家庭科のミシン等個別の技術支援

（３）その他特殊技術や経験・体験の伝達
　　海外体験、ボランティア活動、戦争体験、昔の暮らしなど教育上有効と思われる内容の紹介・伝達（もちつき大会や地蔵太鼓もこれに含まれます。）

**【問合せ・応募先】** 山崎小学校　教頭　後藤　　新　℡（0587）97-0031

## ４　校長が必要と認める事項

**【地域・家庭との連携】**

**１　外部講師を招聘**

（１）「ぎんなん」についての学習（３年）…ぎんなん農家

（２）山崎**地蔵太鼓**のお話（４・５・６年）…**地蔵太鼓**保存会　※Ｒ５「地蔵寺→地蔵」に変更

（３）友愛訪問（生き方学習）…山崎老人クラブ

（４）山崎小太鼓…東海太鼓センター

（５）稲作体験（５年）…ホタルを守る会

（６）地球温暖化教室（５年）

**２　まちづくりとの連携**

（１）ぎんなん隊（スクールガード）

（２）祝いもちつき（６年）…３月

**３　体育振興会との連携**　　校区運動会（振興会役員、ＰＴＡ役員、区長）…１０月

**４　地域学習**

（１）まち探検（２年）

（２）ぎんなんの学習（３年）

（３）イチョウ黄葉まつりの学習（４年）

**５　民生児童委員懇談会**　　情報交換会（祖父江中学校参加）…２月

**６　ＰＴＡ活動**

（１）交通立番指導…年４回（登校時）、中枇・鶴塚の交差点

（２）給食試食会…６月

（３）学校保健委員会…６月、１１月

（４）資源回収…６月、１１月

（５）通学路点検…夏休み、冬休み（年２回）

（６）親子ふれあい飼育・栽培活動…夏休みの土・日

（７）山小だより発行…９月、３月（年２回）

（８）校区運動会の準備・参加…９・１０月

（９）持久走記録会交通指導…１１月

**７　地域への情報発信**

（１）学校公開日…６月、１１月、２月

（２）ＰＴＡ新聞「山小だより」の発行

（３）山崎小ホームページの更新…随時

**８　稲沢市緊急情報配信システム**

（１）緊急時における情報提供、天候急変による下校の見合わせ、行事の連絡等

（２）Ｊアラートの運用（地震等）…シェイクアウト訓練の実施

# 稲沢市立山崎小学校いじめ防止基本方針（概要版）

## 1　いじめ防止の基本的な考え方

いじめは、いじめられた児童の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為です。また、どの児童も被害者にも加害者にもなりえます。本校は、これらの基本的な考えを基に教職員が日頃からささいな兆候を見逃さないように努めるとともに、学校全体で組織的に対応していきます。

また、学校の取組をホームページや学校だよりで発信し、保護者・地域とともに協力して心豊かに楽しく生活できる学校環境作りに取り組んでいきます。

「山崎小学校いじめ防止基本方針」の概要を以下に示します。

## 2　いじめ防止等に関する具体的な取組について

### ①　未然防止の取組

○　児童同士の関わりを大切にし、互いに認め合い、共に成長していく学級づくりを進めます。
○　児童の活動や努力を認め、自己肯定感を育む授業づくりに努めます。
○　教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図るとともに、体験活動を推進し、命の大切さ、相手を思いやる心の醸成を図ります。
○　情報モラル教育を推進し、児童がネットの正しい利用とマナーについての理解を深め、ネットいじめの加害者、被害者とならないよう継続的に指導します。

### ②　早期発見の取組

○　いじめアンケートや教育相談の定期的な実施（年３回）や、タブレット PC を用いた「こころの天気」を毎朝行うことで、児童の小さなサインを見逃さないように努めます。
○　教師と児童との温かい人間関係づくりや、保護者との信頼関係づくりに努め、いじめ等について相談しやすい環境を整えます。
○　スクールカウンセラーとの連携や、いじめ相談電話等、外部の相談機関を紹介し、児童が相談しやすい環境を整えます。

### ③　いじめに対する措置

○　いじめの発見・相談・通報を受けたら「いじめ・不登校対策委員会」を中心に組織的に対応します。
○　被害児童を守り通すという姿勢で対応します。
○　加害児童には教育的配慮のもと、毅然とした姿勢で指導や支援を行います。
○　教職員の共通理解、保護者の協力、スクールカウンセラー等の専門家や、警察署、児童相談センター等の関係機関との連携のもとで取り組みます。
○　いじめが起きた集団への働きかけを行い、いじめを見過ごさない、生み出さない集団づくりを行います。
○　ネット上のいじめへの対応については、必要に応じて警察署や法務局等とも連携して行います。

## 3　重大事態への対応

重大事態が生じた場合は、迅速かつ組織的に対応し、教育委員会に報告をするとともに、事実関係の速やかな調査と被害児童及び保護者への情報提供、子どもへのケア等、最優先に重大事態の解決に向けて取り組みます。

## 4　学校の取組に対する検証・見直し

○　「学校いじめ防止基本方針」をはじめとするいじめ防止の取組については、ＰＤＣＡサイクル（Plan→Do→Check→Action）で見直し、実効性のある取組になるよう努めます。
○　いじめに関する項目を盛り込んだ教職員による取組評価及び保護者への学校評価アンケートを実施し、いじめ・不登校対策委員会でいじめに関する取組の検証及び見直しを行います。

# 山崎スタンダード

令和５年度版

*みんなでがんばる　山小っ子*

## 授業の約束「これだけは！」

【準備】　休み時間に次の学習用具を準備する。

【学習中】机の上の教科書やノートの位置に気を付ける。

【書く】　下敷きを使い、鉛筆を正しくもって書く。

【返事】　名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。

【姿勢】　正しい姿勢で学習する。

## 生活の約束「これだけは！」

【時間を守る】　チャイムより少し前に行動する。

【挨拶】　笑顔でさわやかな挨拶をする。

【整理・整頓】　持ち物や机・ロッカーの中などを整理・整頓する。

【そうじ】　時間いっぱい、だまってそうじをする。

【手洗い】　教室へ入る前や給食前は、しっかり手洗いをする。

【名札】　校内では名札を身に付ける。

# 【準備】授業の始まりと終わり

## ◆ 学習活動のきまり

① **次時の準備の仕方**

・授業が終わったら、机の上に次の授業の準備をしてから休憩にする。
（入学当初の１年生を除く）

・体育の時間は、着替えた服をきれいに（椅子の上）にたたんでおく。

② **教室移動の仕方**

・体育館や特別教室への移動は、<u>並んで静かに移動する</u>（帰りも同様）。

・体育館への移動は、式典や会が始まる時刻までには、移動を完了しておく。

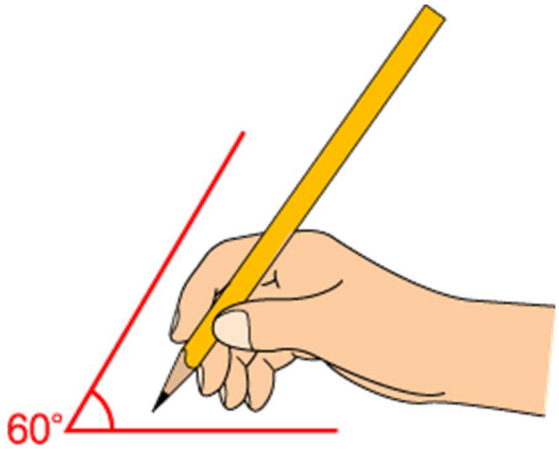
③ **始まりの挨拶**（日直の号令）

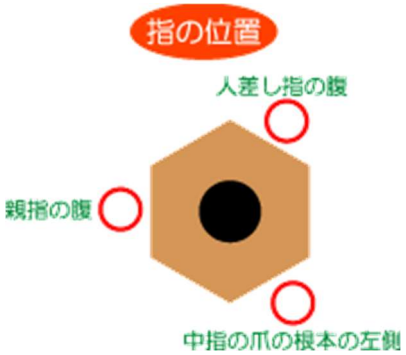
号令：「起立。気を付け。
　　これから〇時間目の勉強を始めます。礼」
全員：「お願いします」→礼をする。
号令：「着席」

④ **終わりの挨拶**（日直の号令）

号令：「起立。気を付け。
　　これで〇時間目の勉強を終わります。礼」
全員：「ありがとうございました」→礼をする。
号令：「着席」　＊次時の準備をしてから、離席をする。

# 【書く】鉛筆の持ち方




① 親指と人差し指でつまむ。

② 中指を後ろで沿わせる。

③ 残りの指をふんわりとじる。

・６面の一つおきに指を置く。

・前から見て外側に 20°傾ける。

## 【書く】ノートのきまり

例　≪算数≫

① 濃い鉛筆を使い、大きく丁寧に書く。

② 下敷き・定規を必ず使う。

③ 日付・単元名・「学習課題」or「めあて」を書く。

④ 間隔を十分に取る。

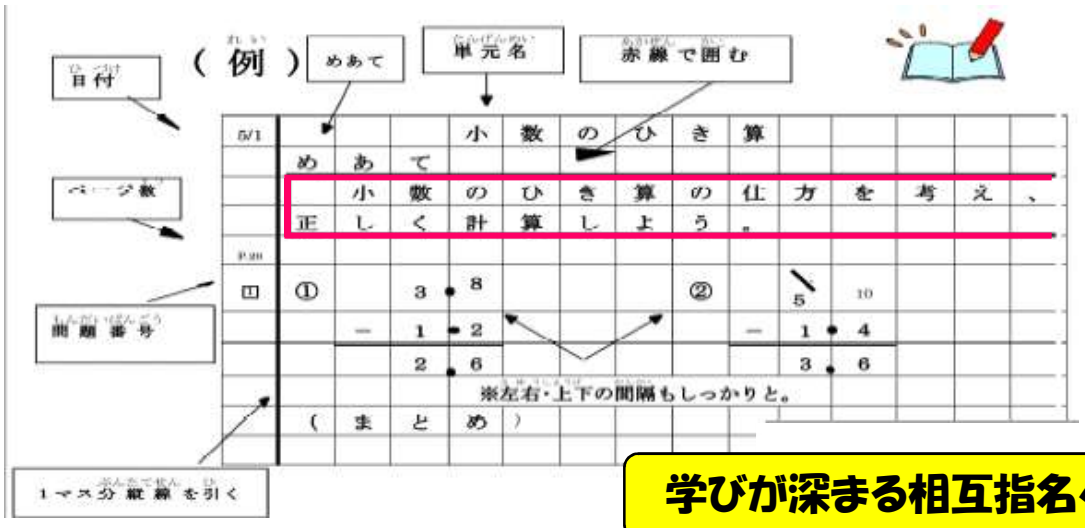
⑤ 左端に、ページ数・問題番号を書く。

⑥ 赤鉛筆で、丸付けをする。

間違いは「×」を付け、消さずにとなりに正しく直す。

※　説明を自分の言葉で書こう。考え方、やり方は消さない。

⑦ 「まとめ」or「振り返り」を書く。




**学びが深まる相互指名へ**

## 【話す・聞く】目指せ「話し方名人」「聞き方名人」

### めざせ！ 話し方名人！

① 声の大きさと違いに気を付けて話す

② 聞き手を見て話す

③ ていねいな言葉で話す

「～です。」「～ます。」「～だと思います。」

④ すじ道を立てて話す

⑤ 順序を表す（まず・次に、一つ目は・二つ目は…）

理由付け（そのわけは…）

まとめ（だから、以上のように…）などを使う

＜話す内容の順序＞

1. いつ
2. どこで
3. だれが
4. 何を
5. どうした
6. どうだった

「相手に伝えるように工夫しよう」という気持ちを大事にね。

### めざせ！ 聞き方名人！

① 話をしている人の方を見て聞く

② 自分の考えと同じところ、ちがうところを考えながら聞く

③ 話の中心に気を付けて聞く

④ 大事なことをメモしながら聞く

⑤ 質問したり、感想（賛成、反対）を言ったりしながら聞く

「相手のことをたくさん知りたい」という気持ちを大事にね。

## 【姿勢】授業中の姿勢

合い言葉「**グー！ペタ！ピン！**」

①「おなかと背中に」**グー！**
おなかと机の間、背中といすの間に「グー１つ分」を空けて座る。

②「足は」**ペタ！**
足を床に「ぴたっ」とつけて座る。

③「背すじを」**ピン！**
背すじを「ぴん」と伸ばす。

## 【授業規律】10 の約束

| | 子ども | 教師 |
|---|---|---|
| ① | 学習用具はそろえておく。 | 学習計画を書いておき、計画通りに授業をする。 |
| ② | チャイムの合図で学習が始まるように準備して、席に着く。 | チャイムの合図をきちんと守る。 |
| ③ | 授業の始まりと終わりの挨拶をきちんとする。 | |
| ④ | 考えるときは時間いっぱい考える。 | ワクワクする**「学習めあて」か「学習課題」を子どもから引き出し提示**する。 |
| ⑤ | 名前を呼ばれたら、「はい」と返事をして、「～です」まではっきりと話す。 | 何をどのようにすればよいか、分かりやすく説明してから活動にうつる。 |
| ⑥ | 分からないときは、「考え中です」「分かりません」とはっきりと言う。 | 「～さん」を付けて呼び、子どもの発表をきちんと聞く。 |
| ⑦ | ハンドサインを使って自分の考えや意見の意思表示をする。 | 考えや意見を表現できる学習ルールを徹底する、 |
| ⑧ | 考えの発表後、次の友達を指名して考えを聞く。最後までだまって聞く。 | 考えが深められるように発問をして、**相互指名ができる**ようにする。 |
| ⑨ | 学習した大切な事柄や内容を自分の言葉でまとめる。 | **キーワードを活用**して**「学習のまとめ」**をし、学習したことを確かめる。 |
| ⑩ | １時間の学習の振り返りをして、できなかったこと、分からなかったことはどうしたらよいのか見通しをもつ。 | **「振り返り」**をして、できたことと、できなかったこと、分かったことをはっきりさせる。 |

# 【家庭学習】の出し方

## ◆ 目安時間

≪目安≫　10 分×学年＋10 分　程度　　（特に、高学年は学習塾の時間も含めてもよい）

【１年】10×１＋10 分＝20（分）
【２年】10×２＋10 分＝30（分）
【３年】10×３＋10 分＝40（分）
【４年】10×４＋10 分＝50（分）
【５年】10×５＋10 分＝60（分）
【６年】10×６＋10 分＝70（分）

## ◆ 学習内容　＊中学校での学習（将来）を見据えて･･･

＜低学年＞　　＜中学年＞　　＜高学年＞

**与えられた課題**

**※　知識･理解、技能の向上**

**自主的な課題**

**※　思考力、主体性の育成**

| 発達段階 | めあて | 家庭学習の内容例 | 点検の仕方 |
|---|---|---|---|
| 低学年 | 習慣化する | *与えられた課題中心*<br>★読み・書き・計算の基本的な学習を行う。<br>（音読・漢字・ドリル・日記・視写・読書　等） | ･教師中心<br>答え合わせ･やり直しの指摘 |
| 中学年 | 自分の学び方を身に付ける | *自主学習の導入*<br>与えられた課題（★）に加え、簡単な復習などを行う。<br>（意味調べ・ローマ字練習・問題づくり　等） | ･教師中心<br>答え合わせ･やり直しの指摘 |
| 高学年 | 計画的・主体的に学ぶ | *自主学習も付け加える*<br>自主学習（復習・予習）を増やす。<br>（今日の授業のまとめ・次時の学習内容の調べ学習・テスト勉強・発展的な学習　等） | ･教師中心→各自で<br>答え合わせ･やり直し<br>（最終的には、自分で見直しができるようにする） |

★　学習の進め方（まず宿題 → 次に自主学習）　＊ 配慮の必要な子には個別対応

★　平仮名や片仮名、漢字、ローマ字学習の点検は教師が行い、正しい習得につながるようにする。

★　自主学習の仕方を例示し、主体的に取り組めるように、コメントを付けて励ます。

★　長期休業中は、興味・関心を育む家庭学習の工夫をする。
（自由研究、総合的な学習の時間における課題追究など）

## ■　道徳科の具体的な評価活動について

◆　個人内評価であること…個人の「伸びしろ」に当たる部分が対象

❶　学級内の児童一人一人の把握とターゲットとする内容項目の決定（約１か月）

❷　指標児童を中心に考えた授業実践

❸　授業実践後の見取りの記録（振り返りシート、家庭での話し合い記録など）

❹　名列表へのメモ

❺　学年末における評価文の作成

❻　次年度に記録をつなぐ

| | 内　容 | A　主として自分自身に関すること | | | | | B　主として人との関わりに関すること | | | | | C　主として集団や社会との関わりに関すること | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内容項目記号 | A－1 | A－2 | A－3 | A－4 | A－5 | B－1 | B－2 | B－3 | B－4 | B－5 | C－1 | C－2 | C－3 | C－4 | C－5 |
| 番号 | 氏　名 | 善悪の判断<br>自律<br>自由と責任 | 正直<br>誠実 | 節度<br>節制 | 個性の伸長 | 希望と勇気<br>努力と強い意志 | 親切<br>思いやり | 感謝 | 礼儀 | 友情<br>信頼 | 相互理解<br>寛容 | 規則の尊重 | 公正<br>公平<br>社会正義 | 勤労<br>公共の精神 | 家族愛<br>家庭生活の充実 | よりよい学校生活<br>集団生活の充実 |
| 1 | | | | | | | | | | | | | △→○ | | | |
| 2 | | | | | | | | | | △→○ | | | | | | |
| 3 | | | | | | | △→○ | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | △→○ | | △→○ | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | | △→○ | |
| 6 | | | △→○ | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | △→○ | | | | | | |
| 8 | | | | ○→◎ | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | △→○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | △→○ | | | | | | | △→○ |
| 11 | | | | | | | | | | | | | ◎→◎ | | | |
| 12 | | | | | △→○ | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | △→○ | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | ◎→◎ | | | | |

①　△→◎：内容項目に対して、低次の価値性・実態である。
　　授業を通して、高次の価値観・道徳性を育みたい。
②　△→○：内容項目に対して、低次の価値性・実態である。
　　授業を通して、中次の価値観・道徳性を育みたい。
③　○→◎：内容項目に対して、中次の価値性・実態である。
　　授業を通して、高次の価値観・道徳性を育みたい。
④　◎→◎：内容項目に対して、高次の価値性・実態である。
　　授業を通して、他の児童にその児童の価値観を広めたり、新しい観点に気付かせたりしたい。

個の把握と学級づくりを進める段階で、それぞれの児童について、ぜひこうした内容項目における道徳性を高めたいという願いをもち、それを意識して指導にあたる。
指導の１時間を、特に誰に焦点を当てて、どのように構想するかを明確にし、授業改善に努めたい。

# 山崎小学校　生活科及び総合的な学習の時間における身に付けたい力

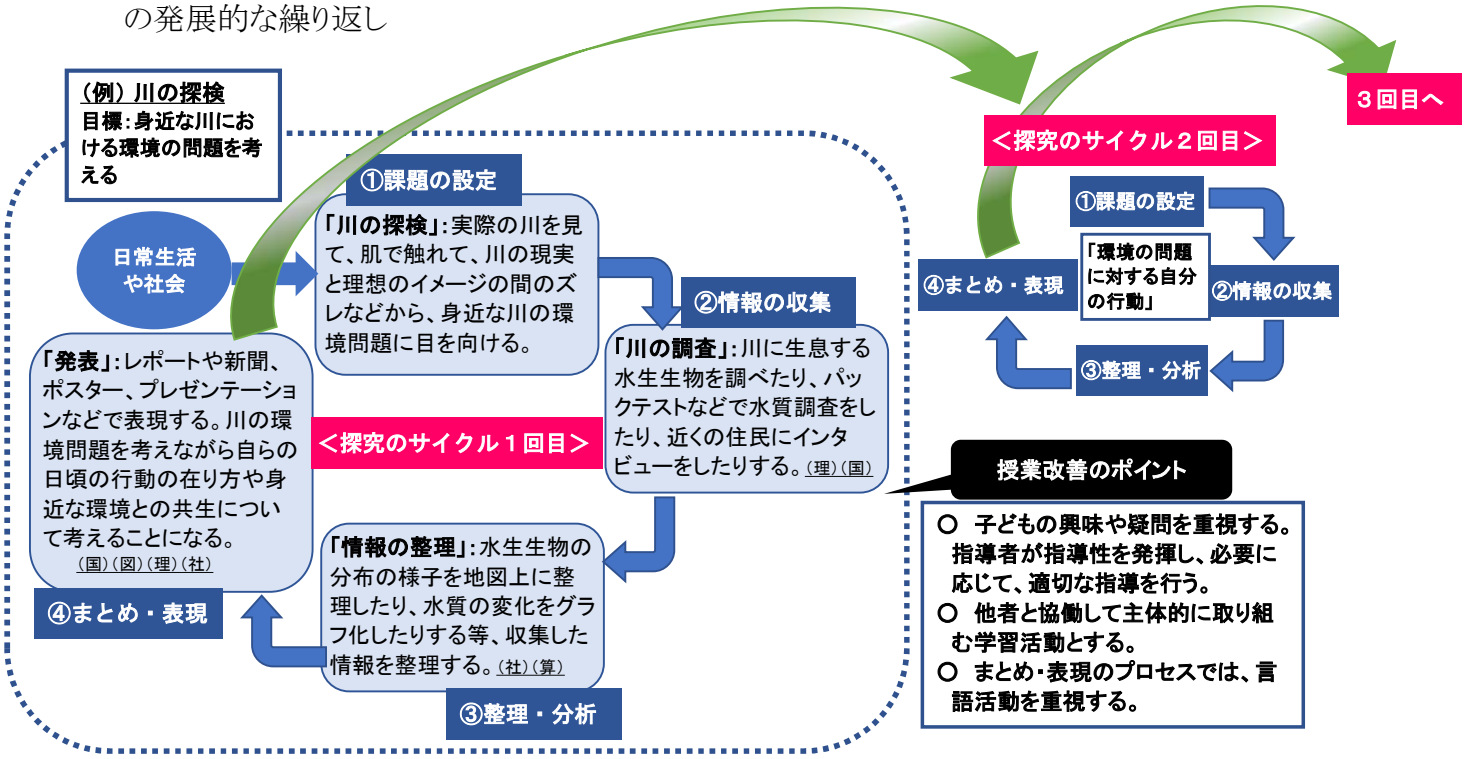
| 段階 | 身に付けたい力 | 高学年 | 中学年 | 低学年 |
|---|---|---|---|---|
| 課題設定 | ・課題を見付ける力<br>・課題を設定する力 | ・問題状況の中から課題を発見し設定する。 | ・問題状況の中から課題に気付き、課題を選択する。 | ・活動や体験から事象に関心をもつ。<br>（・子どもの思いと教師の願いをすり合わせて課題を設定する。） |
| 課題追究 | ・追究方法を考える力<br>・情報収集する力<br>・見直し・再追究する力 | ・解決方法や手順を考え、計画を立てる。<br>・情報収集の手段を考える。<br>・資料、インタビューなどにより収集した事実や関係を把握し、理解する。<br>・多様な情報にある特徴を見付ける。<br>・情報を比較、分類、関係付けする。<br>・グループ等で話し合い、追究した内容を検討し、再追究する。 | ・解決方法や手順を考える。<br>・情報収集の手段を選択する。<br>・資料、質問などにより収集した事実や関係を理解する。<br>・情報を比較、分類をする。 | ・情報収集の手段を選択する。<br>・体験して収集した事実に気付く。<br>・情報を比較する。<br>・記録をする。 |
| まとめ・表現 | ・成果をまとめる力<br>・分かりやすく伝える力 | ・構成の仕方を工夫してまとめる。<br>・事実と感想、意見を区別してまとめる。<br>・図表、グラフを利用して考えを伝える。 | ・まとまりに気を付けてまとめる。<br>・考えと理由、事例を挙げてまとめる。<br>・説明、報告をする。<br>・案内文やお礼の手紙を書く。 | ・順序よくまとめる。<br>・紹介、説明をする。<br>・手紙を書く。 |
| 生活に生かす | ・新たな活動を考え、行動する力 | ・自分の意見をもち、提案する。<br>・新たな活動を見いだし、自分から行動する。 | ・自分でできることを見付ける。 | |

**【評価観点】知識・技能**：事実だけでなく、他の学習や生活の場面で活用できる程度に概念等を理解し、技能を身に付けている。（成果物、観察、振り返りシート）
**思考・判断・表現**：相手や目的に応じて、「知識・技能」や「考えるための技法」を選択して活用しながら論理的に表現している。（成果物、発表）
**主体的に学習に取り組む態度**：主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、積極的に社会に参画しようとしている。（観察、成果物、振り返り）

# 「総合的な学習の時間」における授業づくりのポイント

## 探究的な学習となる単元構想

★ 探究のプロセス「①課題の設定」→「②情報の収集」→「③整理・分析」→「④まとめ・表現」の発展的な繰り返し




## 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

探究的な学習の過程を一層質的に高めていくこと

【主体的な学びの視点】「①課題の設定」子どもが自分のこととして学びを進められるよう<u>実社会や実生活の問題を取り上げる。</u>「④まとめ・表現」において<u>文章やレポートに書き表したり、口頭で報告したり</u>する。

【対話的な学びの視点】「④まとめ・表現」において、身に付けた知識や技能を使って<u>相手に説明したり</u>、他者からの多様な<u>情報を収集したり</u>、情報を可視化・操作化したりしながら、他者とともに課題解決に向けて活動する場を設定する。

【深い学びの視点】「②情報の収集」「③整理・分析」「④まとめ・表現」において、各教科等で身に付けた資質・能力をどのように活用するか、子どもが考える場面を設定する。

## 「考えるための技法」の活用

| | |
|---|---|
| 順序付ける | 対象を多い順や重要度の高い順当、ある視点や条件に沿って並び替える。 |
| 比較する | 複数の対象の共通点や相違点を明らかにする。 |
| 分類する | 複数の対象について、共通点のあるものどうしをまとめる。 |
| 関連付ける | 複数の対象がどのような関係にあるかを見つける |
| 多面的・多角的に見る | 対象のもつ複数の性質に着目する。対象を異なる角度から捉える。 |
| 理由付ける | 理由や原因、根拠を見つけたり、予想したりする。 |
| 見通す | 結果を予想したり、その結果による次の展開を想定したりする。 |
| 具体化する | 抽象化、一般化された対象の具体例を挙げる。 |
| 抽象化する | 複数の具体例を一般化したり、統合したりする。 |
| 構造化する | 全体を把握し、構成要素の関係を分かりやすく整理する。 |

# 特別活動を通して「問題解決の過程を学ぶ」

★「人間関係の育成」、「自己実現」、「キャリア教育」の充実

**よりよい人間関係の育成**
◇ 学級経営の充実を図る
◇ ガイダンスとカウンセリングの双方による児童の発達支援 を行う
◇ 学年の時期の特長を生かした指導の工夫に取り組む

**現在及び将来における自己実現**
◇ 児童理解を深める
◇ 学習指導と関連付けた生徒指導の充実を図る

**キャリア教育の充実**
◇ 学ぶことと自己の将来とのつながりの見通しをもたせる
◇ 社会的･職業的自立に向けて必要な基盤となる資質･能力を身に付けさせていく

**解決方法を合意形成するだけでなく、実践を通して振り返る活動を取り入れる**

**「問題の発見・確認」のポイント**
◆ 学級・学校における生活の諸問題に気付き、その中からみんなで決定する。
◆ 話合の計画を立て、解決に向けて自分の考えをもつ。
◆ 日常生活や自己の課題、目標、学業や進路に関する教師が設定した課題を確認し、解決の見通しをもつ。

**「振り返り」のポイント**
◆ 実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、結果を分析し、次の課題解決に生かす。
◆ 実践の継続や新たな課題の発見につなげる。

**特別活動で身に付ける資質・能力**

- 行動の行方
- 合意形成 意思決定
- 人間関係の形成 自己実現

学びの振り返り
決めたことの実践
問題解決方法の決定
問題解決方法の話合い
問題の発見・確認

学級活動 | 児童会活動 ・委員会活動 ・縦割り活動 | クラブ活動 | 学校行事

自主的・実践的な取組
互いのよさや可能性の発揮
集団や自己の課題解決

**「解決方法の話合い」のポイント**
◆ よりよい生活をつくるための問題の原因や具体的な解決方法、役割分担などについて話し合う。
◆ 設定された課題の状況や自分の問題の状況を把握し、原因や具体的な解決方法等について話し合う。

**「解決方法の決定」のポイント**
◆ 話合い活動で具体化された解決方法等の中から合意形成を図ったり、意思決定をしたりする。

**「決めたことの実践」のポイント**
◆ 決定した解決方法や活動内容を責任をもって実践する。

**【特別活動の目標】集団や社会の形成者**
集団や社会の諸課題を、他人事ではなく自分のこととして捉えるということ

※　課題を見いだし、解決に向けて取り組むという実践的な学習

特に、学級活動(1)、児童会活動、クラブ活動･･･「自発的、自治的な活動」である。

≪話合いの過程例≫

課題の発見 議題の設定 → 話合い → 合意形成 → 決めたことの実践 → 振り返り

- 話合い：出し合う／くらべ合う
- 合意形成：折り合いを付ける まとめる(決める)

活動意欲を喚起する
自己評価・相互評価

「私は、○○がいいです。わけは、△△だからです」

「○○さんの考えをもう一度教えてください」「○○の意見は、△△ということでよいですか」

「私は○○の意見について、△△がよいと思います。わけは□□です」「･･･□□の理由で心配です。○○ではどうですか」

「私は○○の意見に付け足して△△をするといいと思います」

「私は○○と△△は、似ているので、まとめることができると思います」

# 特別活動　主体性の育成「みんなでよりよい学級・学校生活をつくる」

## 学級活動

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

★話合いによる合意形成

① 学級や学校における生活上の諸問題の解決

課題を見いだす　→　話合い　→　合意形成　→　実践

② 学級内の組織づくりや役割の自覚

組織づくり　→　分担　→　協力・実践

③ 学校における多様な集団の生活の向上

学級としての提案・取組の話合い・決定

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

★個の目標決定（意思決定）による取組

① 基本的な生活習慣の形成

② よりよい人間関係の形成

③ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

④ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

★なりたい自分に向けた意思決定　課題把握 → 原因追求 → 解決策の話合い → 意思決定

① 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の育成

② 社会参画意識の醸成や働くことへの意義の理解

③ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

## 児童会活動

★異年齢集団による自治的活動

- 代表委員会
- 委員会活動
- 集会活動
- 縦割り班活動

## クラブ活動

★異年齢児童による自発的、自治的活動

共通の興味・関心を追求する活動

## 学校行事

★体験的活動を通した特色ある学校づくり

① 儀式的行事（入学式、始業式、終業式、卒業式、修了式）

② 文化的行事（芸術鑑賞会、学習発表会）

③ 健康安全・体育的行事（健康診断、避難訓練、引き渡し下校、交通安全教室、運動会）

④ 遠足・集団宿泊的行事（遠足、野外教育活動、修学旅行）

⑤ 勤労生産・奉仕的活動（地域清掃活動、大掃除）